

Contents

1 復習	2
2 演習問題 1	3

1 復習

Def 1. X, Y を集合とする.

$$A \cup B := \{x \in X | x \in A \vee x \in B\}$$

$$A \cap B := \{x \in X | x \in A \wedge x \in B\}$$

$$A \setminus B := \{x \in X | x \in A \wedge x \notin B\}$$

$$A^c := X \setminus A = \{x \in X | x \notin A\}$$

Def 2. 直積

$$X \times Y := \{(x, y) | x \in X \wedge y \in Y\}$$

ここで、 (x, y) は x, y の順序対、言い換えれば $(x, y) := \{\{x\}, \{x, y\}\}$

Def 3. 像・逆像

$f: X \rightarrow Y$ に対し

$$f(A) := \{y \in Y | \exists x \in A, y = f(x)\} = \{f(x) | x \in A\}$$

$$f^{-1}(B) := \{x \in X | f(x) \in B\}$$

Def 4. 同値関係・商集合

以下すべての条件を満たす二項関係 \sim は同値関係である：

・ (反射律) $(\forall x \in X) [x \sim x]$

・ (対称律) $(\forall x, y \in X) [x \sim y \Rightarrow y \sim x]$

・ (推移律) $(\forall x, y, z \in X) [x \sim y \wedge y \sim z \Rightarrow x \sim z]$

X に同値関係 \sim が与えられたとき、 $x \in X$ に対し

$$C(x) := \{y \in X | x \sim y\}$$

を x の同値類という。また、同値類全体の集合

$$X / \sim := \{C \subset X | C \text{ は } \sim \text{ による同値類}\}$$

を X の \sim による商集合という。なお、全射

$$\begin{aligned} \pi: X &\rightarrow X / \sim \\ x &\mapsto C (= C(x)) \end{aligned}$$

を自然な射影という。

Def 5. $S \subset \mathbb{R}$ とする。

・ S が上 (下) に有界 $\stackrel{def}{\iff} (\exists a \in \mathbb{R}) [S \subset [a, \infty)]$ または $(\exists b \in \mathbb{R}) [S \subset (-\infty, b]]$

・ S が有界 $\stackrel{def}{\iff} S$ が上に有界 \wedge 下に有界

・ $\inf S := \max \{a \in \mathbb{R} | S \subset [a, \infty)\}, \sup S := \min \{b \in \mathbb{R} | S \subset (-\infty, b]\}$

Def 6. $x = (x_1, \dots, x_n), y = (y_1, \dots, y_n) \in \mathbb{R}^n$ に対し、 x, y の **Euclid** 距離は

$$|x - y| = \sqrt{\sum_{j=1}^n (x_j - y_j)^2}$$

$$\left(= d^{(n)}(x, y) \right)$$

Def 7. ϵ -近傍 $B_n(x, \epsilon)$

$\epsilon > 0$ とする. $x \in \mathbb{R}^n$ の ϵ -近傍 $B_n(x, \epsilon) \subset \mathbb{R}^n$ を

$$B_n(x, \epsilon) := \{y \in \mathbb{R}^n \mid |y - x| < \epsilon\}$$

で定める

Def 8. $A \subset \mathbb{R}^n, x \in \mathbb{R}^n$

- ・ x が A の内点 $\iff \exists \epsilon_0 > 0, s.t. B_n(x, \epsilon_0) \subset A$
- ・ x が A の外点 $\iff x$ が A^c の内点である
- ・ x が A の触点 $\iff \forall \epsilon > 0, B_n(x, \epsilon) \cap A \neq \emptyset$
- ・ x が A の境界点 $\iff x$ が A の触点、かつ A^c の触点である
- ・ A の内部 $A^i := \{x \in \mathbb{R}^n \mid x \text{ は } A \text{ の内点}\}$
- ・ A の閉包 $\overline{A} := \{x \in \mathbb{R}^n \mid x \text{ は } A \text{ の触点}\}$

Def 9. 開集合・閉集合

- ・ A が \mathbb{R}^n の開集合 $\iff A = A^i$ 、言い換えれば、 A に属するすべての点が A の内点でもある
- ・ A が \mathbb{R}^n の閉集合 $\iff A = \overline{A}$ 、言い換えれば、 A のすべての触点が A に属することである

2 演習問題 1

0-1

1

$$\sup(0, 2] = 2$$

2

$$\sup(0, 2) = 2$$

3

$$\inf \left\{ \frac{1}{n} \mid n \in \mathbb{N} \right\} = 0$$

4

$$\inf \{n \mid n \text{ は正の整数}\} = 1$$

5

$$\inf \{x \mid x \text{ は正の実数}\} = 0$$

6

$$\sup \left\{ e^{-\frac{1}{x}} \mid x > 0 \right\} = 1$$

0-2

(1)

$\forall \epsilon > 0, \exists s \in S, s.t. \beta - \epsilon < s$ を示せばいい

言い換えれば $\forall \epsilon > 0, S \not\subset (-\infty, \beta - \epsilon]$ を示せばいい

ここで、 β が S の上限であるから、 $\forall \epsilon > 0, \beta > \beta - \epsilon$ で、 $\exists s \in S, s.t. \beta \geq s > \beta - \epsilon$

(2)

$\sup S = \infty$ であるから、 $\forall M > 0, S \not\subset (-\infty, M]$.

これを言いかえると $\exists s \in S, s.t. s \notin (-\infty, M]$ i.e. $s > M$

(3)

$$\beta = \infty$$

(2) より、 $\forall n \in \mathbb{N}, \exists s_n \in S, s.t. s_n > n$. これは $s_n \xrightarrow{n \rightarrow \infty} \beta$

$$\beta < \infty$$

$\epsilon = \frac{1}{n}$ とする. (1) より、 $\beta - \epsilon < s_n \leq \beta$

$$\text{ともに極限をとると、} \lim_{n \rightarrow \infty} \left(\beta - \frac{1}{n} \right) < \lim_{n \rightarrow \infty} s_n \leq \beta$$

はさみうち原理より $s_n \xrightarrow{n \rightarrow \infty} \beta$

(4)

$S \subset S'$ より、 S' の上界は必ず S の上界であり、 S' の上限も必ず S の上界であるが必ず上限ではない.

よって、 β' は S の上界であり、 β は S の最小上界であるから、 $\beta \leq \beta'$

(5)

$\alpha = \max\{\beta, \beta'\}$ とする. $\beta = \sup S \leq \alpha, \beta' = \sup S' \leq \alpha$ から、 α は $S \cup S'$ の上界である.

$\alpha' < \alpha$ かつ α' は $S \cup S'$ の上界であることを仮定する. $\alpha = \beta$ とすると、 α' は S の上界かつ

$\alpha' < \beta$ から、矛盾する. 同様に $\alpha = \beta'$ の場合も矛盾するから. このような α' は存在しない. 言い換えれば α は $S \cup S'$ の最小上界である.

0-3**(1)**

\emptyset はすべての集合の部分集合であるから、 $\forall a \in \mathbb{R}, \emptyset \subset [a, \infty)$.

また、 $\forall b \in \mathbb{R}, \emptyset \subset (-\infty, b]$

以上より、 $\forall a, b \in \mathbb{R}, [a, \infty) = (-\infty, b] = \mathbb{R}$

(2)

$\inf \emptyset = \max \{a \in \mathbb{R} | \emptyset \subset [a, \infty)\} = \max \mathbb{R} = \infty$

$\sup \emptyset = \min \{b \in \mathbb{R} | \emptyset \subset (-\infty, b]\} = \min \mathbb{R} = -\infty$

0-4**(1)**

$B_1(a, \epsilon) = (a - \epsilon, a + \epsilon)$

(2)

$\forall x \in (1, 2) \epsilon = \min \{x - 1, 2 - x\}$ から $\epsilon > 0$.

また、 $(x - \epsilon, x + \epsilon)$ に対し、 $x - \epsilon \geq 1, x + \epsilon \leq 2$

よって、 $(x - \epsilon, x + \epsilon) \subset (1, 2)$

(3)

開集合ではない. 反例は 0、その ϵ -近傍の左側は $[0, 1)$ の部分集合ではない

(4)

$\forall x \in (-1, 1), \forall \epsilon > 0, B_1(x, \epsilon) \cap [-1, 1] \neq \emptyset$ から、 $\{-1, 1\}$ だけ考えればいい.

$x = -1, \forall \epsilon > 0, [x, x + \epsilon) \cap [-1, 1] \neq \emptyset$

$x = 1, \forall \epsilon > 0, (x - \epsilon, x] \cap [-1, 1] \neq \emptyset$ よって、 $[-1, 1]$ のすべての触点が $[-1, 1]$ に属している、
言い換えれば、 $[-1, 1]$ は閉集合である

参考文献